2013 New Hair

JIG

013 NEW HAIR JIG Technical Manual

013 全理連ニューヘア「JIG」マニュアル
ニューヘア設定委員会 制作

「混乱の世の中を生き抜くために人間はなにげない日常を見つめなおし、そのクオリティーをあげたいと願う」
「ヘアデザインが今できること」
"feel the difference"
私たちが時代を感じ、挑戦し続けることで新しい発見があり、お客様との深い絆が生まれます。
「これからの未来にかかせないのは自然とテクノロジーの融合」
2013 NEW HAIR JIG はお客様が本来持っている個性(魅力)に
新たなピース(嗜好)を加えることで魅惑的なラーバンスタイルが表現できます。

JIGは「ナチュラル & コンフォート」がマインド。
シンプルでリアリティー溢れるカットテクニック。
新鮮な「ライジングゾーン」、「Hゾーン」の融合によって生まれるハイブリットなフォルムライン。
斬新な「ライジングライン」による馴染み感、空気感、毛束感。
お客様本来の髪の美しさを最大限に引き出し、再現性の高いクリープパーマ。
優しく艶のあるウォーム系ベースカラーにより、美しいハーモニーを奏で、
豊かな世界観を作り出すウィービングカラー。
レングスを変化させることでメンズ、レディースともエージレスに対応できます。
それらは、MAGNETIC(マグネティック)で HIGH FUNCTION(ハイファンクション)。

2013 NEW HAIR JIG により、
私たちはヘアデザインの素晴らしさをあらためて再発見し、
新たな可能性を気付かせてくれるでしょう。
「BLISS〜至上の幸福」

2013 NEW HAIR JIG

Contents

01 「JIG」の特長……3
02 各部名称……4
03 各ゾーンのブロッキング……4
04 ハイサイド(HS)・ローサイド(LS)のカット……5
05 デザインライン(DL)のカット……5
06 フリーゾーン(FZ)のカット……5
07 Hゾーン下部・Hゾーンのカット……6
08 ライジングゾーン(LZ)のカット……6
09 バランスカット……6
10 テクスチュアーカット……7
11 クリープパーマ……8,9
12 カラー……10
13 アフターカット……10
14 スタイリングイメージ……11
15 アイテム(用意するもの)……12

2013 全理連ニューヘア設定委員会

委員長　飛田 英雄
委員(チーフ) 池田 道治
委員　花島 和久
委員　鈴木 盛之
委員　石黒 知樹
委員　的場 康造
委員　木本 光紀

01 「JIG」の特長

自信を持って自分自身の人生を歩んでいくために、
シンプルなテクニックとドラマティックなデザインにより、
人の持つ個性を最大限に引き出し、
生きていく強さをサポートするデザインを提案します。

【魅力的】

ロマンティックで優しい雰囲気のウォーム系カラーに
クールさと情熱がインスピレーションする

REALITY

【現実的】

革新的にアシンメトリーを造形するライジングゾーン。

柔らかく、ダイナミックな動きを表現するHゾーン。

シンプルなカットプロセスで、

HIGH FUNCTION

【快適】

髪を艶やかで美しく魅せるクリープパーマテクニック。

クリープパーマ・アイロンで、よりスタイリッシュに！

02 各部名称

■ デザインポイント…【DP】
トップポイント(TP)とゴールデンポイント(GP)の中間。

■ デザインライン……【DL】
耳上部とDPを結ぶ線。

■ ライジングライン…【LL】

●ハイサイド
DL・OL(0字ライン)の交点から正中線上髪際を結ぶ線を最下点とし、高低差3cmのジグザグ線を図-1のようにとる(フェイス側は高低差を徐々に小さくする)。

●ローサイド
OLを最上点とし、髪際からDLまで高低差3cmのジグザグ線を図-2のようにとる。

●バック
後頭突起を最上点とし、高低差3cmのジグザグ線を図-2のようにとる。

■ Hライン……【HL】
DL・OLの交点とみつ襟を頭の丸みに沿って結ぶ線。

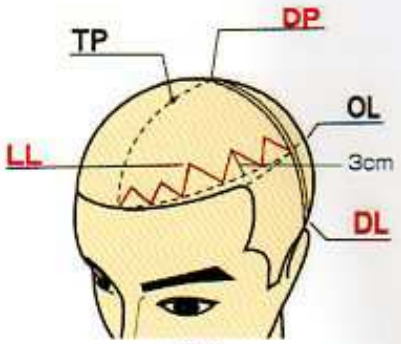

図-1

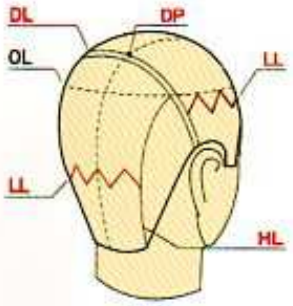

図-2

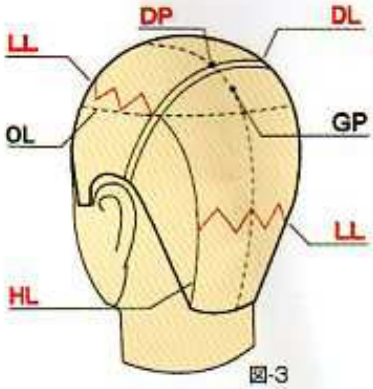

図-3

03 各ゾーンのブロッキング

■ ライジングゾーン(LZ)

図-4

■ ハイサイド(HS)

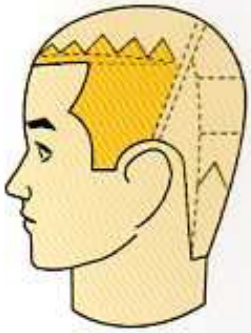
図-5

■ ローサイド(LS)

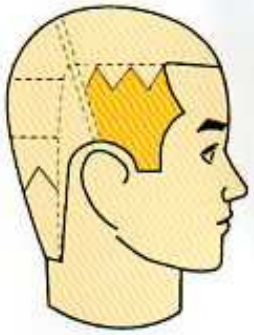
図-6

■ Hゾーン・Hゾーン下部(HZ)

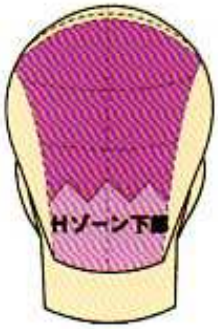

図-7

■ フリーゾーン(FZ)

図-8

04 ハイサイド(HS)・ローサイド(LS)のカット 【使用器具：カット率の高いセニングシザー】

ハイサイド、ローサイドライジングライン下部を、3cmを目安に骨格、生え癖を考慮しながらカットする。
(注)耳周りは自由な表現で整える。

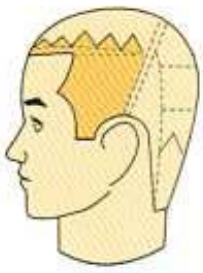
図-9

図-10

写真-01

写真-02

写真-03

写真-04

05 デザインライン(DL)のカット 【使用器具：カット率の高いセニングシザー】

デザインラインから後ろ1cmの幅をとり、オンザベースで引き出し、6cmでイーブンにカットする。

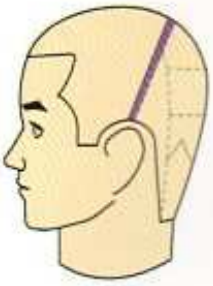
図-11

図-12

写真-05

写真-06

写真-07

写真-08

06 フリーゾーン(FZ)のカット 【使用器具：カット率の高いセニングシザー】

フリーゾーンはデザインラインの長さをガイドに骨格、年齢、スタイルを考慮しながらカットする。鋏を縦に使用し馴染ませる。
(注)耳周りはスタイルとの調和を考え仕上げる。

図-13

写真-09

写真-10

写真-11

写真-12

写真-13

07 Hゾーン下部・Hゾーンのカット 【使用器具：カット率の高いセニングシザー】

① ライジングライン下部センターは3cmを目安に刈り下げ、骨格、生え癖を考慮しながらカットする。
(注)コーナーはフリーゾーンにジョイントするイメージでカットする。

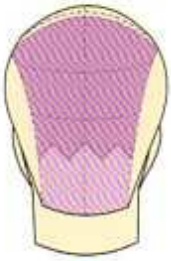
図-14

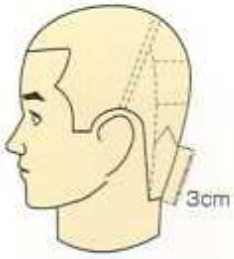

図-15

写真-14

写真-15

写真-16

写真-17

② Hゾーンをa·b·cに分け、それぞれ10cmをガイドに、オンザベースの縦スライスでカットする。

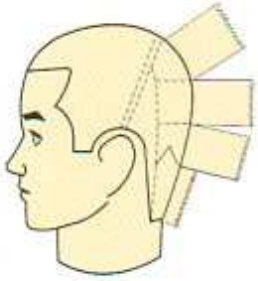
図-16

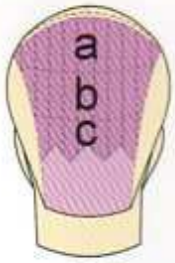

図-17

写真-18

写真-19

写真-20

写真-21

08 ライジングゾーン(LZ)のカット 【使用器具：カット率の高いセニングシザー】

DPの前方に8cmのガイドを設定し、センターから2~3cm幅を目安に、ワンパネルごとにオーバーダイレクションでカットする。

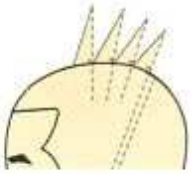
図-18

図-19

写真-22

写真-23

写真-24

写真-25

09 バランスカット 【使用器具：カットレザー】

ライジングラインで出来る質感を活かすために床面よりややアップステムに引き出し、似合わせを考え長さを調整する(フリーゾーンは除く)。
カット後、毛先に重さが残る場合、ダウンステムでチェックカットする。 (注)柔らかいラインを出すためにカットレザーを使用する。

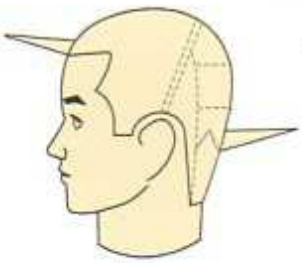
図-20

図-21

写真-26

写真-27

写真-28

写真-29

10 テクスチュアーカット

■ インナーセニング 【使用器具：カット率の低いセニングシザー】

DPから図のような方向にインナーセニングする。

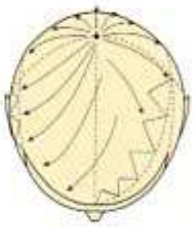

図-22

写真-30

写真-31

写真-32

写真-33

■ マグネティックセニング 1 【使用器具：ランダムな毛束感ができるセニングシザー、あるいはカット率の低いセニングシザー】

毛量を確認した上で髪をオンザベースに引き出し、根元、中間、毛先をランダムな毛束感がでるように梳く。

(注)通常のセニングシザーを使用した場合は、鋏を縦に使用する。

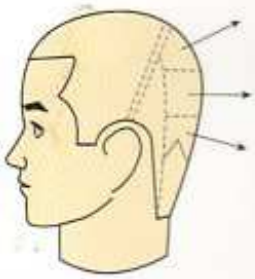

図-23

▼ マグネティックシザーを使用した場合

写真-34

写真-35

▼ 通常のシザーを使用した場合

写真-36

写真-37

■ マグネティックセニング 2 【使用器具：カット率の高いセニングシザー】

ライジングゾーンのハイサイド側から図のように3cm幅で平行にスライスをとり、フェイス側からデザインラインまで同じピッチで毛束の内側を削る。これをローサイドライジングライン最上点まで行う。

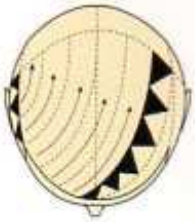

図-24

図-25

図-26

写真-38

写真-39

写真-40

11 クリープパーマ

クリープパーマで艶のある傷みのない髪を作ることを目的としたパーマシステム。JIG の特長であるライジングラインによる動き、毛束感をより豊かにし、大きくてもしっかりしたカールが表現できる。

■プロセスポイント

■コールドパーマ

① 毛髪診断、前処理……毛髪診断後、使用する薬剤を選ぶ(カラー毛やダメージ毛はカーリング剤等)。ダメージ毛は、キューティクルが剥がれ、毛髪の成分であるタンパク質や脂質が流出していることがあるので、それを補うPPT(タンパク質)やCMC(細胞間脂質)の補給が必要。

② 1剤塗布……塗布後、ワインディングを行い放置タイム。

③ 中間水洗……還元後(テストカール)、1剤促進をストップさせるために中間水洗を行う。

④ クリープ期……中間水洗後、熱い蒸しタオルで包み、蒸し工程を行う(5~10分)。
(ダメージ毛の場合、中間処理としてPPTやCMC、キトサンなどを塗布したのち、蒸し工程を行う)

⑤ 2剤処理、後処理……2剤処理後ロットオフし、プレーンリンス。次にヘマチン等で酸化定着を促し、トリートメント剤等を塗布して再度流す。

写真-41

写真-42

写真-43

■アイロンパーマ

① 毛髪診断、前処理……毛髪診断後、使用する薬剤を選ぶ(カラー毛やダメージ毛はカーリング剤等)。ダメージ毛は、キューティクルが剥がれ、毛髪の成分であるタンパク質や脂質が流出していることがあるので、それを補うPPT(タンパク質)やCMC(細胞間脂質)の補給が必要。

② 1剤塗布……塗布後、放置タイム。

③ プレーンリンス……還元後、プレーンリンスを行い、軽く水分をとる(たれない程度)。

④ クリープ期……水分が蒸発しないように、キャップを被せ、ドライヤーで温めながら蒸し工程を行う(10分程度)。

⑤ アイロン操作……毛髪の状態に応じCMC、ケラチン、キトサン、保護剤等を塗布し施術する。

⑥ 2剤処理、後処理……2剤処理後、プレーンリンス。次にヘマチン等で酸化定着を促し、トリートメント剤等を塗布して再度流す。

写真-44

写真-45

写真-46

写真-47

■テクニックポイント

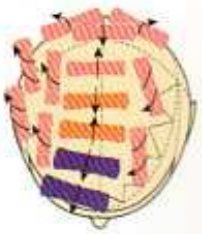

図-27

図-28

■ワインディング

○ライジングゾーンに、バック、フォワードと交互にワインディングし、ランダムで動きのあるカール表現をつくる。

○ライジングゾーンは、DPを中心にハイサイド側からローサイド側にかけて少し斜めにロッドを配列し、基本的な流れを表現する。

○両サイド、ハイサイド側はフォワードで上向きに、ローサイド側はリバースで下向きにスパイラル巻きにし、毛先に遊びを持たせる。

○図-28のようにHゾーン上部1本は、ライジングゾーンに向かって巻く。Hゾーンの両サイドは、外側に巻き、流れを表現する。

写真-48

写真-49

写真-50

写真-51

図-29

■アイアニング

基本的にはコールドパーマのワインディング同様のイメージでアイロン操作を行う。

○軽くタオルドライをした状態でアイロン施術に移る。

(注)温度計を使用しアイロンの温度をコントロールする(140℃前後)。

○毛の根元に立ち上がりをつけるため逆アイロンを入れ、前方へ突き出しながら毛先まで大きなアールを描くようにアイロン操作をする(図-29)。

※オプション1：フリーゾーンにおさまりが必要な場合は、馴染ませ程度に巻く。

※オプション2：ライジングゾーンに、より自由な表現をする場合は、1スライスの中にウイービングの要領で小さいカールを作る(写真-61)。

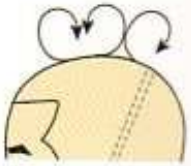

図-30

図-31

写真-52

写真-53

写真-54

写真-55

写真-56

写真-57

写真-58

写真-59

写真-60

写真-61

12 カラー

JIG の提案するカラーは、優しさと楽しさを奏でる色づかいが特長。
優しく艶のあるウォーム系ブラウンをベースカラーに使用し、補色同士の組み合わせのウィービングカラーでドラマティックな動きを表現。
3つのプロセスの異なる色づかいで JIG のデザインをより魅力的に。

図-32

図-33

図-34

① ウィービングカラー
ライジングゾーン(図のように)5cm×1cm ベースを2つと、3cm×1cm ベースを1つとり、1cm ピッチのウィービングを入れ、下を6レベルのアッシュ系、上を12レベルのピンク系でホイルする。ライジングライン上部に左右2箇所の三角チップをとり、12レベルのピンク系でホイルする。H ゾーン上部も図のように5cm×1cm のベースを2パネルとり、ライジングゾーンと同じ薬剤でホイルする。

② ベースカラー
ライジングゾーンとHゾーン上部のベースカラーは、8レベルのベージュ系に、8レベルのウォームブラウンを1：1で混ぜ塗布する。

③ デザインを引き締めるカラー
両サイドとフリーゾーン・Hゾーン下部は6レベルのマット系に、6レベルのクールブラウンを 2：1で混ぜ塗布する。

写真-62

写真-63

写真-64

写真-65

写真-66

写真-67

13 アフターカット 【使用器具：カット率の高いセニングシザー・カットレザー】

クリープパーマ及びカラー終了後、JIG のデザインをより軽快で楽しい雰囲気にするためのアフターカット。
(注)軽くドライした後、行う。

■ ブレイクカット 1
ライジングゾーンと H ゾーンに施したウィービングカラーの間を、毛束の根元から削ることにより豊かな動きが生まれる。

図-35

図-36

写真-68

写真-69

■ ブレイクカット 2
フロント・左右ライジングライン上部、それ以外にも必要と感じるポイントに、カットレザーやセニングシザーを使用してカットする。

図-37

写真-70

写真-71

写真-72

14 スタイリングイメージ

REALITY

【現実的】

エネルギッシュに進化を続ける若さを表現したスタイリング。

パーマとランダムなワインディングによる髪の動きとエアリー感を強調しています。合わせてライジングラインで毛束感を引き出します。バックスタイルは、マグネティックカットで動きを出します。サイドはハイとローの落差を活かした、アシンメトリーな仕上がりで革新性を演出。サイドはスパイラルパーマで毛先の遊びを表現します。

JIGならではの二面性を現わすスペシャルバージョンでは、柔らかいパーマをカールがほどよく伸びるくらいにドライします。前髪はサイドに流すことでクールなイメージに。仕上げは、ハードタイプのウォーターワックスできっちりとセットして、男らしさを演出します。

MAGNETIC

【魅力的】

JIGが提案するレディーススタイルは、レディーライクなミディアムレングス。

カットはJIGの特長であるライジングゾーンとHゾーンのカットで、マグネティックな毛束の遊びを大胆に出します。中間から毛先にかけては、大きめのロッドと少し細目のロッドとを交互に配列し、ランダムな方向に巻いたパーマです。

スタイリングは楽しさやうれしさが伝わるような雰囲気を表現するために、空気をまとうように仕上げます。特にフロント部分の髪は柔らかく浮かせて可愛い感じに仕上げます。

カラーも明るさや楽しさが伝わるような色づかいで、スタイリングと合わせて全体に華やかで、明るく、ハッピーな雰囲気を演出します。

HIGH FUNCTION

【快適】

知的でありながら、遊び心を忘れない大人のためのスタイリング。

JIGの特長である二面性を引き出すには、アイロンパーマのテクニックが決め手になります。アイロンパーマの特性を活かして、タオルドライ後の髪にワックスをもみ込んでドライヤーをあて、軽快でリズミカルな雰囲気に仕上げます。

一方、スペシャルバージョンはスクラッチドライを繰り返し、カールをしっかりと引き出していきます。フロントをタイトに抑えると、大人らしい演出に。

どちらも仕上がりはウェットでもドライでもOK。その日の気分次第。最後にスプレーして、ホールドすることを忘れずに。アイロンパーマならではのスタイリッシュな仕上がりです。

15 アイテム（用意するもの）

① JIG ヘアメニュー、マニュアル、DVD
② カット用具一式
カット率の高い梳き鋏、カット率の低い梳き鋏、カットレザー、カットコーム等
③ パーマ用具一式
●コールドパーマの場合：ロッド12 mm 各14本、13 mm 各2本、14 mm 各2本、薬剤、前・後処理剤
●アイロンパーマの場合：丸アイロン10 mm、薬剤、前・後処理剤
用具：リングコーム、ペーパー、ゴム、キャップ、ラップ、スポイト等
④ カラー用具一式
薬剤：マット・アッシュ・クールブラウン(6レベル)、ベージュ・ウォームブラウン(8レベル)、
ピンク系(12レベル)、2剤、アルミホイル12枚、カップ3個、ハケ3本、ゴム手袋
⑤ スタイリング剤
ワックス(艶有り・艶無し)、スプレー(ハード・ソフト)
⑥ その他
モデルウイッグ使用の場合はウイッグ・クランプ
ドライヤー、ダッカール10本、タオル5〜6枚、水スプレー、シャンプー、トリートメント、各クロス

用具・薬剤のお問い合わせは下記まで

全国理容中央学園・販売部 〒161-0033 東京都新宿区下落合 2-3-16 TEL.03-3950-8808(直通) FAX.03-3950-1354
URL: http://shop.chic.ac.jp E-mail : hanbai@chic.ac.jp
定価 1,300 円 消費税込み・送料別

●編集／日野 恒雄 ●監修／飛田 英雄 ●発行者／大森 利夫 ●発行所／全国理容生活衛生同業組合連合会
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-36-4 TEL.03-3379-4111(代表)
URL: http://www.riyo.or.jp E-mail : info@riyo.or.jp

無断転載・複製を禁ず